

二つの傾斜地で  
空堀と竜ヶ迫

INOUE Akihiko

On the two slopes  
Karahori and Tatsugasako



旧竜ヶ迫天満宮



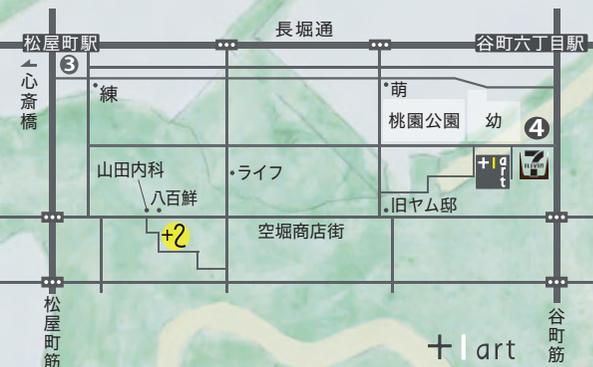
竜ヶ迫築港にて



自遊学校 (旧竜ヶ迫小学校)



自遊学校食堂裏



《海面になる練習》(映像から)



谷町六丁目駅④ 徒歩1分  
出口右手の石段を下り小路を左に  
542-0012 大阪市中央区谷町6-4-40  
www.plus1art.jp TEL 06-7712-6685

2022  
1/26-2/12

井上明彦  
INOUE Akihiko

# 二つの傾斜地で 空堀と竜ヶ迫

On the two slopes  
Karahori and Tatsugasako

1/26 (水) - 2/12 (土)

PM12-7 (最終日~PM5) 日・月・火曜休廊

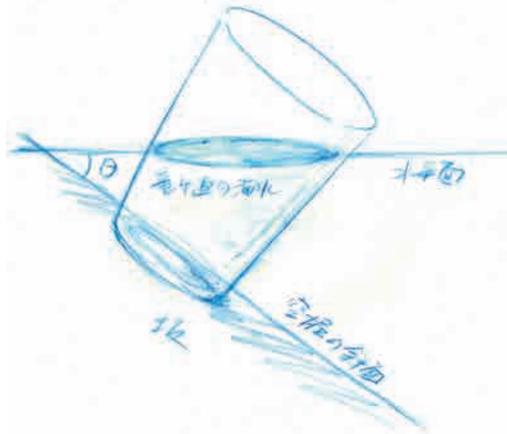


空堀にて



空堀にて

+1 art を主宰される野口さん・カワラギさんが営まれる自遊学校のある高知の竜ヶ迫と、+1 art・+2のある大阪の空堀は、共に傾斜に富んでいる。斜面は、そこに置かれるモノに高い位置エネルギーを与え、水平面にはない異質性と潜勢力をもたらす。本展では、空堀と竜ヶ迫、二つの傾斜地に見いだされる多様なモノのありようのいくつかをトレースし、交換や変換を通じて新たな共存（コンポジション com/position）を探る。それによって、傾きの可能性を開示することをめざす。斜めの海辺に空の堀が浮かび、傾いた空の堀に海が押し寄せる日を夢想しつつ。（井上明彦）



## 【空堀をトレースする Tracing Karahori】

1/29 (土) 13:30~15:00

コップ一杯の竜ヶ迫の海水で、+1~+2のあいだの地面の傾きを測り、また水のゆくえを探る。  
参加無料・要予約 mail: gal@plus1art.jp



空堀にて



空堀にて



空堀にて



角度の考察(エスキス)

## ■参加型プログラム

### 【空堀散歩 Walking Karahori】特設サイト

会場に置かれた地図を頼りに +1~+2 のあいだを散歩し、傾きに関わる興味深いモノのありようを特設サイトにアップして下さい。画像、テキストなど方法は自由。本サイトは会期中公開します。詳細はホームページをごらん下さい。



《傾きのレッスン》(エチュード)

## INOUE Akihiko

1955年大阪生まれ。1984年京都大学大学院博士課程中退。2006-07年文化庁新進芸術家在外研修(パリ)。近年の主な展覧会に、かけがわ茶エンナーレ(2021)、発酵をよむ一藤枝守・井上明彦・稲垣智子(+1 art, 2019)、新シク開イタ地(神戸アートビレッジセンター、2016)、still moving(元崇仁小学校ほか、京都、2015、2016、2017)、反重力(豊田市美術館、2013)、生存のエシックス(京都国立近代美術館、2010)など

ギャラリーで作品を展示するとき、少しでも傾いている作品があると、そこだけ目立つので、水平器を使って水平になるように気をつけます。それほど私たちの感覚は傾きに敏感です。傾きは生活(生命活動)に直結しているからでしょう。かねてから「傾き」に注目し「ふたしかな屋根」シリーズなどの作品がある井上さんは、+1artのある空堀周辺と、+1artと併行して運営している高知・自遊学校のあるタツガサコの「傾き」をリサーチしました。本展では、大阪-高知という隔たった2か所を結ぶ「傾き」を、リアルタイム映像を交えて展示(提示)します。会期中は、タツガサコから持ち帰った海水で「空堀をトレースする」ワークショップも予定しています。

+1 art カワラギ